

高校Ⅱ年生(Ⅲ生) 北海道・道央方面へ研修旅行に行ってきました。

ムックリの製作体験



小樽にて



富良野のラベンダー



夕張でオシャレな昼食



大阪国際空港から新千歳空港へ。まずは白老ポロトコタンへ向かい、講話を聞いたり民族楽器ムックリの製作を楽しみながら、アイヌ民族の文化に、少しですが触れました。次の目的地である有珠山西山火口では、現地ガイドさんの説明を受けながら散策し、10年前に起こった噴火について学びました。また昭和南山では、クマ牧場の愉快的な仲間たちとも戯れました。

2日目、小樽ではグループごとに事前に考えたコースを巡りながら研修。同じく北海道に研修旅行に来ていた奈良学園高等学校のコースや時間もちょうど重なっていたため、しばしの間懐かしい元クラスメートたちとの、旅先での再会を楽しみました。

3日目は旭山動物園。ホッキョクグマ、ペンギン、アザラシなどの行動展示はもちろん、たっぷり時間があつたので、園内隅々までたくさんの動物たちの様子を観察することができました。そのあと訪れた富良野では、丘に広がる耕地に人間が生きるための営みと、周囲に広がる北海道の大自然が織り成す美しさを見ました。

最終日の夕張では、かつて炭鉱で栄え活気にあふれていた頃の様子を今なお残す豪華な施設で昼食を頂いたり、炭鉱について学んだりしました。また、荒れた建物が残る旧繁華街も横目に見ながら、再建を目指して頑張っておられる方々のご苦労や、自治体経営の難しさも感じさせられました。

全行程を通して心配されていた天気ですが、旭山動物園や富良野で少し雨にたたられはしたものの、何とかもちたえてくれましたので、概ね良好でした。また、宿泊した旅館やホテルなどではゆっくりとくつろぐことができ、食事も美味しく、楽しく頂くことができたので、有意義な研修旅行となりました。